



歴史と伝統、そして実績を誇る奈良女子大学(企画)

地(知)の拠点 奈良女子大学

奈良女子大学は、平成27年度地(知)の拠点大学における地方創生推進事業(COC+)で選定された。同事業は、文部科学省が同年度から、大学が地方公共団体や企業と協働して、学生にとって魅力ある就職先を創出するとともに、その地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムの改革を断行する大学を支援することで、地方創生の中心となる「ひと」の地方への集積を目指すもの。奈良女子大学は共創郷育「やまと」再構築プロジェクトと銘打って、奈良県の地方創生に寄与する人材の育成ならびに活躍環境の整備に取り組む。同事業について、同大学で地方創生を担当する藤原素子・生活環境学部教授、やまと共創郷育センター長にお話をうかがった。

地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)

インタビュー

生活環境学部教授
やまと共創郷育センター長 藤原 素子氏



奈良女子大学学長補佐、やまと共創郷育センター長、COC+推進機構長、生活環境学部教授(心身健康学)、医学博士

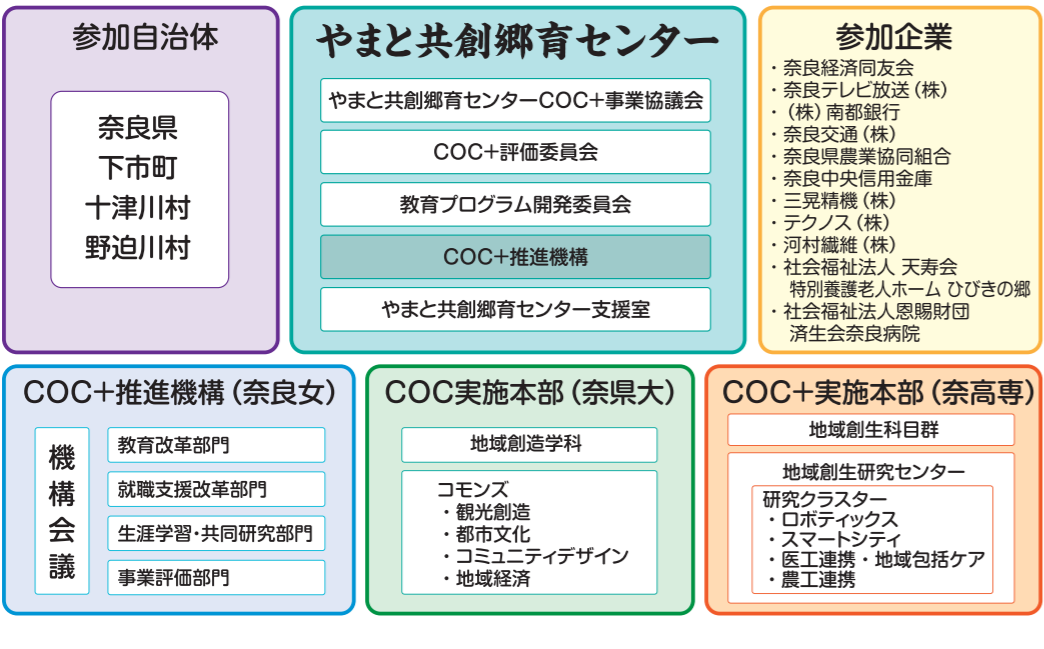
藤原 素子氏

ふじわら・もとこ 1960年奈良県生まれ。83年奈良女子大学文学部卒。89年大阪大学大学院医学研究科生理系修了。大阪大学医学部助手、奈良女子大学文学部教授などを経て2014年から同大学生活環境学部教授。専攻は身体運動学、バイオメカニクス、体育学。主な著書は「歩行と走行の脳・神経科学」(市村出版、2013=共著)「進化する運動科学の研究最前線」(N T S、2014=共著)など。

自治体・企業 協働で事業

このたびは奈良女子大学COC+事業が文部科学省の平成27年度地(知)の拠点大学における地方創生推進事業に採択されました。まさにこれほど重要な事業なんでしょうか。藤原 事業の目標は、奈良県の地方創生に寄与する人材の育成および、奈良県の地方創生に寄与する人材の活躍環境の整備です。そのために、まず教育改革を行い、地域志向型教育を推進します。次に就職支援改革として、奈良県内企業に関する情報発信の強化、奈良県内企業との交流の機会の強化に取り組みます。また奈良が好む、奈良に興

やまと共創郷育センター



共創郷育「やまと」再構築プロジェクト

地域創生へ人材育成 就職支援で環境整備

出身地で就職 卒業生の現状

奈良女子大学の卒業生の就職状況の現状は、藤原 奈良女子大学を平成26年度に卒業した学部生は300名で、奈良県に就職した卒業生は30名です。ほかに大学院に進学した学部生が約200名ほどいます。 本学は奈良県出身者は30名ほど



地(知)の拠点となる「やまと共創郷育センター」

奈良が好む、奈良に興味があるといって学生を一人でも多く育て、社会に送り出すことが大学としての地方創生への貢献です。この取り組みは単に学生に知識を与える経験を踏ませるだけではなく、学生の心を動かす仕掛けが必要です。多くの企業が自治体の「協力をお願いしたい」と思っています。

住む学ぶ働く 好環境に期待

このような事業に取り組まれていることになった経緯をうかがいたいです。藤原 文部科学省の趣旨は、東京への人口流出を抑制し、地方での就職を促進することです。平成27年度は本学と奈良工業高等専門学校が共同で申請し、平成28年度からは奈良県立大学も新たに加わります。

奈良県は大阪府に隣接しており、埼玉、千葉、東京と同様に「ドタキャン」化しているのが特徴で、これは当分は続くと思われ。しかし奈良県は、生駒山を越えるだけで豊かな歴史と自然に恵まれており、住環境、教育環境も非常に優れています。地域の潜在力は非常に高く、産業を起こしては住む・学ぶ・働くという好循環が期待できます。

そのために、地方創生理解科目を設置します。これは奈良を知り、関心を持たせるための科目で、全学生に広く受講を推奨します。代表的な科目として「奈良学」をリレー講義形式で開講し、奈良への多面的な関心を養い、奈良についていろいろな角度から学問的に考える能力を養います。

次にプロジェクト科目として、自治体と協力しながら地域の課題解決に取り組むPBT型科目として内容の濃い実践的な教育を行います。形実習的な科目として「奈良の木造建築」を新規開講します。この科目は、奈良県奈良市の木造建築と連携し、十津川村での林業体験、製材所見学などを行いながら、木工デザインを実践するもので、奈良県の伝統産業である林業について学生に考察させる契機になればと思います。

地域志向型教育を推進するため、本学としては「奈良で学ぶこと」を通じてあなただけの世界に貢献ができませんか?と問われながら取り組んでいます。従前より重視してきた奈良で学ぶことをより広く、より深く教育として提供していく必要があります。

教育はカリキュラム改革で対応できると思いますが、卒業生を奈良県に定着させるには多くの課題があると思います。藤原 本学では平成31年度末に奈良県内就職者を10%増の62名にするという数値目標があります。

そのための施策として、まず奈良県内企業のパンフレットを開設し、県内企業から提供していただいた会社案内・パンフレット等をキャリア・サポート・ルームの一角に集約し、学生に県内企業情報を積極的に発信します。会社案内・パンフレット等を作成された際は、ぜひとも提供していただきたいと思

次に奈良県内企業限定参加による就職説明会を開催します。県内企業と県内への就職を希望する学生、県内企業への就職を視野に入れていて、学生との交流の場として位置づけたいと思います。本説明会は平成28年度より新規に実施する計画でして、実施予定が固まり次第、各企業にご案内させていただきます。

奈良県は大阪府に隣接しており、埼玉、千葉、東京と同様に「ドタキャン」化しているのが特徴で、これは当分は続くと思われ。しかし奈良県は、生駒山を越えるだけで豊かな歴史と自然に恵まれており、住環境、教育環境も非常に優れています。地域の潜在力は非常に高く、産業を起こしては住む・学ぶ・働くという好循環が期待できます。

そのために、地方創生理解科目を設置します。これは奈良を知り、関心を持たせるための科目で、全学生に広く受講を推奨します。代表的な科目として「奈良学」をリレー講義形式で開講し、奈良への多面的な関心を養い、奈良についていろいろな角度から学問的に考える能力を養います。

次に奈良県内企業限定参加による就職説明会を開催します。県内企業と県内への就職を希望する学生、県内企業への就職を視野に入れていて、学生との交流の場として位置づけたいと思います。本説明会は平成28年度より新規に実施する計画でして、実施予定が固まり次第、各企業にご案内させていただきます。

奈良が好む、奈良に興味があるといって学生を一人でも多く育て、社会に送り出すことが大学としての地方創生への貢献です。この取り組みは単に学生に知識を与える経験を踏ませるだけではなく、学生の心を動かす仕掛けが必要です。多くの企業が自治体の「協力をお願いしたい」と思っています。

このたびは奈良女子大学COC+事業が文部科学省の平成27年度地(知)の拠点大学における地方創生推進事業に採択されました。まさにこれほど重要な事業なんでしょうか。藤原 事業の目標は、奈良県の地方創生に寄与する人材の育成および、奈良県の地方創生に寄与する人材の活躍環境の整備です。そのために、まず教育改革を行い、地域志向型教育を推進します。次に就職支援改革として、奈良県内企業に関する情報発信の強化、奈良県内企業との交流の機会の強化に取り組みます。また奈良が好む、奈良に興味があるといって学生を一人でも多く育て、社会に送り出すことが大学としての地方創生への貢献です。この取り組みは単に学生に知識を与える経験を踏ませるだけではなく、学生の心を動かす仕掛けが必要です。多くの企業が自治体の「協力をお願いしたい」と思っています。

このたびは奈良女子大学COC+事業が文部科学省の平成27年度地(知)の拠点大学における地方創生推進事業に採択されました。まさにこれほど重要な事業なんでしょうか。藤原 事業の目標は、奈良県の地方創生に寄与する人材の育成および、奈良県の地方創生に寄与する人材の活躍環境の整備です。そのために、まず教育改革を行い、地域志向型教育を推進します。次に就職支援改革として、奈良県内企業に関する情報発信の強化、奈良県内企業との交流の機会の強化に取り組みます。また奈良が好む、奈良に興味があるといって学生を一人でも多く育て、社会に送り出すことが大学としての地方創生への貢献です。この取り組みは単に学生に知識を与える経験を踏ませるだけではなく、学生の心を動かす仕掛けが必要です。多くの企業が自治体の「協力をお願いしたい」と思っています。

このたびは奈良女子大学COC+事業が文部科学省の平成27年度地(知)の拠点大学における地方創生推進事業に採択されました。まさにこれほど重要な事業なんでしょうか。藤原 事業の目標は、奈良県の地方創生に寄与する人材の育成および、奈良県の地方創生に寄与する人材の活躍環境の整備です。そのために、まず教育改革を行い、地域志向型教育を推進します。次に就職支援改革として、奈良県内企業に関する情報発信の強化、奈良県内企業との交流の機会の強化に取り組みます。また奈良が好む、奈良に興味があるといって学生を一人でも多く育て、社会に送り出すことが大学としての地方創生への貢献です。この取り組みは単に学生に知識を与える経験を踏ませるだけではなく、学生の心を動かす仕掛けが必要です。多くの企業が自治体の「協力をお願いしたい」と思っています。

このたびは奈良女子大学COC+事業が文部科学省の平成27年度地(知)の拠点大学における地方創生推進事業に採択されました。まさにこれほど重要な事業なんでしょうか。藤原 事業の目標は、奈良県の地方創生に寄与する人材の育成および、奈良県の地方創生に寄与する人材の活躍環境の整備です。そのために、まず教育改革を行い、地域志向型教育を推進します。次に就職支援改革として、奈良県内企業に関する情報発信の強化、奈良県内企業との交流の機会の強化に取り組みます。また奈良が好む、奈良に興味があるといって学生を一人でも多く育て、社会に送り出すことが大学としての地方創生への貢献です。この取り組みは単に学生に知識を与える経験を踏ませるだけではなく、学生の心を動かす仕掛けが必要です。多くの企業が自治体の「協力をお願いしたい」と思っています。

このたびは奈良女子大学COC+事業が文部科学省の平成27年度地(知)の拠点大学における地方創生推進事業に採択されました。まさにこれほど重要な事業なんでしょうか。藤原 事業の目標は、奈良県の地方創生に寄与する人材の育成および、奈良県の地方創生に寄与する人材の活躍環境の整備です。そのために、まず教育改革を行い、地域志向型教育を推進します。次に就職支援改革として、奈良県内企業に関する情報発信の強化、奈良県内企業との交流の機会の強化に取り組みます。また奈良が好む、奈良に興味があるといって学生を一人でも多く育て、社会に送り出すことが大学としての地方創生への貢献です。この取り組みは単に学生に知識を与える経験を踏ませるだけではなく、学生の心を動かす仕掛けが必要です。多くの企業が自治体の「協力をお願いしたい」と思っています。

このたびは奈良女子大学COC+事業が文部科学省の平成27年度地(知)の拠点大学における地方創生推進事業に採択されました。まさにこれほど重要な事業なんでしょうか。藤原 事業の目標は、奈良県の地方創生に寄与する人材の育成および、奈良県の地方創生に寄与する人材の活躍環境の整備です。そのために、まず教育改革を行い、地域志向型教育を推進します。次に就職支援改革として、奈良県内企業に関する情報発信の強化、奈良県内企業との交流の機会の強化に取り組みます。また奈良が好む、奈良に興味があるといって学生を一人でも多く育て、社会に送り出すことが大学としての地方創生への貢献です。この取り組みは単に学生に知識を与える経験を踏ませるだけではなく、学生の心を動かす仕掛けが必要です。多くの企業が自治体の「協力をお願いしたい」と思っています。

このたびは奈良女子大学COC+事業が文部科学省の平成27年度地(知)の拠点大学における地方創生推進事業に採択されました。まさにこれほど重要な事業なんでしょうか。藤原 事業の目標は、奈良県の地方創生に寄与する人材の育成および、奈良県の地方創生に寄与する人材の活躍環境の整備です。そのために、まず教育改革を行い、地域志向型教育を推進します。次に就職支援改革として、奈良県内企業に関する情報発信の強化、奈良県内企業との交流の機会の強化に取り組みます。また奈良が好む、奈良に興味があるといって学生を一人でも多く育て、社会に送り出すことが大学としての地方創生への貢献です。この取り組みは単に学生に知識を与える経験を踏ませるだけではなく、学生の心を動かす仕掛けが必要です。多くの企業が自治体の「協力をお願いしたい」と思っています。

このたびは奈良女子大学COC+事業が文部科学省の平成27年度地(知)の拠点大学における地方創生推進事業に採択されました。まさにこれほど重要な事業なんでしょうか。藤原 事業の目標は、奈良県の地方創生に寄与する人材の育成および、奈良県の地方創生に寄与する人材の活躍環境の整備です。そのために、まず教育改革を行い、地域志向型教育を推進します。次に就職支援改革として、奈良県内企業に関する情報発信の強化、奈良県内企業との交流の機会の強化に取り組みます。また奈良が好む、奈良に興味があるといって学生を一人でも多く育て、社会に送り出すことが大学としての地方創生への貢献です。この取り組みは単に学生に知識を与える経験を踏ませるだけではなく、学生の心を動かす仕掛けが必要です。多くの企業が自治体の「協力をお願いしたい」と思っています。

このたびは奈良女子大学COC+事業が文部科学省の平成27年度地(知)の拠点大学における地方創生推進事業に採択されました。まさにこれほど重要な事業なんでしょうか。藤原 事業の目標は、奈良県の地方創生に寄与する人材の育成および、奈良県の地方創生に寄与する人材の活躍環境の整備です。そのために、まず教育改革を行い、地域志向型教育を推進します。次に就職支援改革として、奈良県内企業に関する情報発信の強化、奈良県内企業との交流の機会の強化に取り組みます。また奈良が好む、奈良に興味があるといって学生を一人でも多く育て、社会に送り出すことが大学としての地方創生への貢献です。この取り組みは単に学生に知識を与える経験を踏ませるだけではなく、学生の心を動かす仕掛けが必要です。多くの企業が自治体の「協力をお願いしたい」と思っています。

このたびは奈良女子大学COC+事業が文部科学省の平成27年度地(知)の拠点大学における地方創生推進事業に採択されました。まさにこれほど重要な事業なんでしょうか。藤原 事業の目標は、奈良県の地方創生に寄与する人材の育成および、奈良県の地方創生に寄与する人材の活躍環境の整備です。そのために、まず教育改革を行い、地域志向型教育を推進します。次に就職支援改革として、奈良県内企業に関する情報発信の強化、奈良県内企業との交流の機会の強化に取り組みます。また奈良が好む、奈良に興味があるといって学生を一人でも多く育て、社会に送り出すことが大学としての地方創生への貢献です。この取り組みは単に学生に知識を与える経験を踏ませるだけではなく、学生の心を動かす仕掛けが必要です。多くの企業が自治体の「協力をお願いしたい」と思っています。

このたびは奈良女子大学COC+事業が文部科学省の平成27年度地(知)の拠点大学における地方創生推進事業に採択されました。まさにこれほど重要な事業なんでしょうか。藤原 事業の目標は、奈良県の地方創生に寄与する人材の育成および、奈良県の地方創生に寄与する人材の活躍環境の整備です。そのために、まず教育改革を行い、地域志向型教育を推進します。次に就職支援改革として、奈良県内企業に関する情報発信の強化、奈良県内企業との交流の機会の強化に取り組みます。また奈良が好む、奈良に興味があるといって学生を一人でも多く育て、社会に送り出すことが大学としての地方創生への貢献です。この取り組みは単に学生に知識を与える経験を踏ませるだけではなく、学生の心を動かす仕掛けが必要です。多くの企業が自治体の「協力をお願いしたい」と思っています。

このたびは奈良女子大学COC+事業が文部科学省の平成27年度地(知)の拠点大学における地方創生推進事業に採択されました。まさにこれほど重要な事業なんでしょうか。藤原 事業の目標は、奈良県の地方創生に寄与する人材の育成および、奈良県の地方創生に寄与する人材の活躍環境の整備です。そのために、まず教育改革を行い、地域志向型教育を推進します。次に就職支援改革として、奈良県内企業に関する情報発信の強化、奈良県内企業との交流の機会の強化に取り組みます。また奈良が好む、奈良に興味があるといって学生を一人でも多く育て、社会に送り出すことが大学としての地方創生への貢献です。この取り組みは単に学生に知識を与える経験を踏ませるだけではなく、学生の心を動かす仕掛けが必要です。多くの企業が自治体の「協力をお願いしたい」と思っています。

このたびは奈良女子大学COC+事業が文部科学省の平成27年度地(知)の拠点大学における地方創生推進事業に採択されました。まさにこれほど重要な事業なんでしょうか。藤原 事業の目標は、奈良県の地方創生に寄与する人材の育成および、奈良県の地方創生に寄与する人材の活躍環境の整備です。そのために、まず教育改革を行い、地域志向型教育を推進します。次に就職支援改革として、奈良県内企業に関する情報発信の強化、奈良県内企業との交流の機会の強化に取り組みます。また奈良が好む、奈良に興味があるといって学生を一人でも多く育て、社会に送り出すことが大学としての地方創生への貢献です。この取り組みは単に学生に知識を与える経験を踏ませるだけではなく、学生の心を動かす仕掛けが必要です。多くの企業が自治体の「協力をお願いしたい」と思っています。

このたびは奈良女子大学COC+事業が文部科学省の平成27年度地(知)の拠点大学における地方創生推進事業に採択されました。まさにこれほど重要な事業なんでしょうか。藤原 事業の目標は、奈良県の地方創生に寄与する人材の育成および、奈良県の地方創生に寄与する人材の活躍環境の整備です。そのために、まず教育改革を行い、地域志向型教育を推進します。次に就職支援改革として、奈良県内企業に関する情報発信の強化、奈良県内企業との交流の機会の強化に取り組みます。また奈良が好む、奈良に興味があるといって学生を一人でも多く育て、社会に送り出すことが大学としての地方創生への貢献です。この取り組みは単に学生に知識を与える経験を踏ませるだけではなく、学生の心を動かす仕掛けが必要です。多くの企業が自治体の「協力をお願いしたい」と思っています。

このたびは奈良女子大学COC+事業が文部科学省の平成27年度地(知)の拠点大学における地方創生推進事業に採択されました。まさにこれほど重要な事業なんでしょうか。藤原 事業の目標は、奈良県の地方創生に寄与する人材の育成および、奈良県の地方創生に寄与する人材の活躍環境の整備です。そのために、まず教育改革を行い、地域志向型教育を推進します。次に就職支援改革として、奈良県内企業に関する情報発信の強化、奈良県内企業との交流の機会の強化に取り組みます。また奈良が好む、奈良に興味があるといって学生を一人でも多く育て、社会に送り出すことが大学としての地方創生への貢献です。この取り組みは単に学生に知識を与える経験を踏ませるだけではなく、学生の心を動かす仕掛けが必要です。多くの企業が自治体の「協力をお願いしたい」と思っています。

このたびは奈良女子大学COC+事業が文部科学省の平成27年度地(知)の拠点大学における地方創生推進事業に採択されました。まさにこれほど重要な事業なんでしょうか。藤原 事業の目標は、奈良県の地方創生に寄与する人材の育成および、奈良県の地方創生に寄与する人材の活躍環境の整備です。そのために、まず教育改革を行い、地域志向型教育を推進します。次に就職支援改革として、奈良県内企業に関する情報発信の強化、奈良県内企業との交流の機会の強化に取り組みます。また奈良が好む、奈良に興味があるといって学生を一人でも多く育て、社会に送り出すことが大学としての地方創生への貢献です。この取り組みは単に学生に知識を与える経験を踏ませるだけではなく、学生の心を動かす仕掛けが必要です。多くの企業が自治体の「協力をお願いしたい」と思っています。

このたびは奈良女子大学COC+事業が文部科学省の平成27年度地(知)の拠点大学における地方創生推進事業に採択されました。まさにこれほど重要な事業なんでしょうか。藤原 事業の目標は、奈良県の地方創生に寄与する人材の育成および、奈良県の地方創生に寄与する人材の活躍環境の整備です。そのために、まず教育改革を行い、地域志向型教育を推進します。次に就職支援改革として、奈良県内企業に関する情報発信の強化、奈良県内企業との交流の機会の強化に取り組みます。また奈良が好む、奈良に興味があるといって学生を一人でも多く育て、社会に送り出すことが大学としての地方創生への貢献です。この取り組みは単に学生に知識を与える経験を踏ませるだけではなく、学生の心を動かす仕掛けが必要です。多くの企業が自治体の「協力をお願いしたい」と思っています。

このたびは奈良女子大学COC+事業が文部科学省の平成27年度地(知)の拠点大学における地方創生推進事業に採択されました。まさにこれほど重要な事業なんでしょうか。藤原 事業の目標は、奈良県の地方創生に寄与する人材の育成および、奈良県の地方創生に寄与する人材の活躍環境の整備です。そのために、まず教育改革を行い、地域志向型教育を推進します。次に就職支援改革として、奈良県内企業に関する情報発信の強化、奈良県内企業との交流の機会の強化に取り組みます。また奈良が好む、奈良に興味があるといって学生を一人でも多く育て、社会に送り出すことが大学としての地方創生への貢献です。この取り組みは単に学生に知識を与える経験を踏ませるだけではなく、学生の心を動かす仕掛けが必要です。多くの企業が自治体の「協力をお願いしたい」と思っています。

このたびは奈良女子大学COC+事業が文部科学省の平成27年度地(知)の拠点大学における地方創生推進事業に採択されました。まさにこれほど重要な事業なんでしょうか。藤原 事業の目標は、奈良県の地方創生に寄与する人材の育成および、奈良県の地方創生に寄与する人材の活躍環境の整備です。そのために、まず教育改革を行い、地域志向型教育を推進します。次に就職支援改革として、奈良県内企業に関する情報発信の強化、奈良県内企業との交流の機会の強化に取り組みます。また奈良が好む、奈良に興味があるといって学生を一人でも多く育て、社会に送り出すことが大学としての地方創生への貢献です。この取り組みは単に学生に知識を与える経験を踏ませるだけではなく、学生の心を動かす仕掛けが必要です。多くの企業が自治体の「協力をお願いしたい」と思っています。

このたびは奈良女子大学COC+事業が文部科学省の平成27年度地(知)の拠点大学における地方創生推進事業に採択されました。まさにこれほど重要な事業なんでしょうか。藤原 事業の目標は、奈良県の地方創生に寄与する人材の育成および、奈良県の地方創生に寄与する人材の活躍環境の整備です。そのために、まず教育改革を行い、地域志向型教育を推進します。次に就職支援改革として、奈良県内企業に関する情報発信の強化、奈良県内企業との交流の機会の強化に取り組みます。また奈良が好む、奈良に興味があるといって学生を一人でも多く育て、社会に送り出すことが大学としての地方創生への貢献です。この取り組みは単に学生に知識を与える経験を踏ませるだけではなく、学生の心を動かす仕掛けが必要です。多くの企業が自治体の「協力をお願いしたい」と思っています。

古都奈良で創る未来

奈良女子大学

文部科学省 地(知)の拠点

国立大学法人 奈良女子大学 文学部 理学部 生活環境学部

〒630-8506 奈良市北魚屋西町 ☎0742-20-3204 <http://www.nara-wu.ac.jp/>